

令和2年度「蓄熱技術研修会」開催のお知らせ

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、平成10年から蓄熱式空調システムの技術支援事業の一環として、センターにて作成した技術基準類(マニュアル、プログラム)をテキストとして「蓄熱技術研修会」を毎年開催しております。

蓄熱技術研修会の特徴

- 本研修会は、建築 CPD 運営会議(建築 CPD)、空気調和・衛生工学会(SHASE-CPD)、建築設備技術者協会(JABMEE CPD)のポイントが取得できます。
- 図表や計算例、具体例を多用した分かり易いテキストを使用しています。
- 「蓄熱マイスター」認定制度を平成 26 年度より設立しています。
- 「⑦水蓄熱・運用保全コース」では、皆様が実務で直面している問題等について相談できる時間を設けています。
- テキストは継続的に更新しておりますので、講義内容については一部変更になる場合があります。

レベル	種類	コース名/受講対象	開催都市	開催日 [期間] (定員)	講義 概要
初級	基本設計	① 水蓄熱・初級コース 参加費:賛助会員 9,000円 一般 13,000円 学生 5,000円 対象:蓄熱式空調システムに興味のある方	東京	令和2年7月8日(水) [1日間] (定員20名)	水蓄熱システムの基本設計に必要な知識の習得を目指す。 エネルギー量算定、ランニングコスト評価などの手法を解説・演習を行う。
		② 氷蓄熱・初級コース 参加費:賛助会員 9,000円 一般 13,000円 学生 5,000円 対象:蓄熱式空調システムに興味のある方	東京 大阪	令和2年11月17日(火) [1日間] (定員20名) 令和2年7月29日(水) [1日間] (定員30名)	氷蓄熱システムの基本設計に必要な知識の習得を目指す。 エネルギー量算定、ランニングコスト評価などの手法を解説・演習を行う。
中級	計画・設計・評価	③ 氷蓄熱・設計コース 参加費:賛助会員 16,000円 一般 24,000円 対象:蓄熱式空調システム(ユニット式氷蓄熱システム)の設計に取り組みたい方 計画に参画したい方	東京 大阪	令和2年12月9日(水) [1日間] (定員15名) 令和3年1月15日(金) [1日間] (定員20名)	氷蓄熱システム導入のメリットや全体計画、運転管理、二次側の低温大温度差空調システムの設計留意点、並びに年間エネルギー消費量・成績係数の算出法を具体例により解説する。
		④ 水蓄熱・設計コース 参加費:賛助会員 32,000円 一般 48,000円 対象:蓄熱式空調システム(特に水蓄熱システム)の設計に取り組みたい方 計画に参画したい方	東京	令和2年9月24日(木) ・25日(金) [2日間] (定員15名)	水蓄熱システムの設計・制御・計測・監視・施工・試運転調整までの一連のポイントについて、わかりやすく解説し、専門知識の習得を目指す。併せて設計支援ツールを用いて、温度プロファイルや蓄熱槽効率などのシミュレーションを行い、最適な水蓄熱システムの設計手法の習得も目指す。
	⑤ 氷蓄熱・設計・応用コース 参加費:賛助会員 16,000円 一般 24,000円 対象:蓄熱式空調システム(氷蓄熱システム、特に現場築造型)の設計に取り組みたい方 計画に参画したい方	東京	令和3年度開催 [1日間] (定員15名) 隔年開催	二次側の低温大温度差空調システムまで含めた現場施工型水蓄熱空調システムについて、計画・設計から運用までを解説する。また、具体的な設計事例の詳細な説明により専門知識の応用力修得を目指す。	
	評価・運用・リニューアル	⑥ 蓄熱システム・コミッショニングコース 参加費:賛助会員 16,000円 一般 24,000円 対象:蓄熱式空調システムの設計等経験者、あるいはコミッショニングプロセスに興味のある方。他コースの研修会に参加頂いた方	東京	令和3年2月2日(火) [1日間] (定員15名) 隔年開催	蓄熱式空調システムのレトロコミッショニング(復性能検証)のための性能検証過程や評価指標、性能検証ツール(性能検証マトリクス(MQC))についてわかりやすく解説する。
		⑦ 水蓄熱・運用保全コース 参加費:賛助会員 24,000円 一般 36,000円 対象:蓄熱式空調システムの運用管理に従事される方、または設計・施工の経験のある方 他コースの研修会に参加頂いた方	東京	令和2年8月19日(水) ～20日(木) [1.5日間] (定員15名)	水蓄熱システムの運用管理について不具合の実態を事例を用いてわかりやすく解説する。2日目には、東京電力蓄熱システム技術センターにて、当センター発行の不具合診断ツールを配布・解説、また実機講習を行う。(前日と会場が異なります。)
	⑧ 蓄熱システム・リニューアルコース 参加費:賛助会員 16,000円 一般 24,000円 対象:リニューアルで熱源計画に蓄熱を考えている方、特に既存蓄熱の更新を検討されている方 他コースの研修会に参加頂いた方	東京	令和3年度開催 [1日間] (定員15名) 隔年開催	蓄熱システムの更新・改修時の蓄熱システム導入検討から計画におけるチェックポイント、実施例について解説する。	
中上級	総合	⑨ 水蓄熱・修得コース 参加費:賛助会員 50,000円 一般 75,000円 対象:設計の経験があり、基礎より応用まで総合的に広く深く蓄熱技術を習得したい方(蓄熱式空調システムの設計経験がある方が望ましい)	東京	令和2年10月14日(水) ～16日(金) [3日間] (定員10名)	講師との対話を通し、基礎より応用まで講義と演習によって水蓄熱システムの一貫した知識の修得を目指す。2日目には講師陣との意見交換会を開催、人脈を形成していただく機会としてます。

注:「③氷蓄熱・設計コース(大阪開催)」「⑤氷蓄熱・設計・応用コース」「⑥蓄熱システム・コミッショニングコース」「⑧蓄熱システム・リニューアルコース」については、隔年開催を予定しています。

申込:各コースの詳細や申込は当センターのホームページをご覧ください。<https://www.hptci.or.jp/>

問合せ先:蓄熱技術研修会 事務局 TEL:03-5643-2403 FAX:03-5641-4501